

業務状況説明書

(令和 2 年 10 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日)

飯綱町下水道事業

下水道事業の実施状況（令和2年度下半期）

1 事業の概況

（1）総括事項

下水道事業は、飯綱町の健全な発展及び町民の公衆衛生の公共を図るとともに、公共用水域の水質保全に資するため、計画的に下水道の整備を進めています。

令和2年度の主な事業として、農業集落排水事業の袖之山地区及び牟礼西部地区を特定環境保全公共下水道事業へ統合する事業を実施しました。また、既存の下水道施設の維持管理を実施しています。

なお、令和2年度の予算に定められた事業計画の実績は次のとおりです。

区 分		業務の予定量	業務の実績
(1)	処理区域内接続戸数 (戸)	3,480	3,504
(1)-2	処理区域内接続人口 (人)	9,560	9,319
(2)	年間総汚水量 (m ³)	830,000	841,141
(3)	一日平均汚水量 (m ³)	2,274	2,304
(4)	主な建設改良事業		
	防災・安全交付金(道路)工事に伴う下水道施設支障 移転工事 (円)	29,700,000	24,244,000
	社会資本整備総合交付金事業飯綱町公共下水道管路施設工事(第1工区～第7工区) (円)	(277,500,000)	352,217,658 (83,600,000)
	飯綱町特定環境保全公共下水道クリーン飯綱耐震診断(静的非線形解析)業務委託 (円)	22,000,000	22,000,000 (22,000,000)

備考 各事業()内は事業費のうち建設改良費繰越の金額

2 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

収入 (単位:円(税込))

科 目	予算額	執行額			執行率
		上半期	下半期	計	
下水道事業収益	707,730,000	525,079,438	199,571,370	724,650,808	102.39%
営業収益	168,725,000	89,121,438	88,355,062	177,476,500	105.19%
営業外収益	539,005,000	435,958,000	111,216,308	547,174,308	101.52%

支出 (単位:円(税込))

科 目	予算額	執行額			執行率
		上半期	下半期	計	
下水道事業費用	707,730,000	297,802,235	346,015,532	643,817,767	90.97%
営業費用	606,386,000	251,974,557	311,031,862	563,006,419	92.85%
営業外費用	83,982,000	36,402,538	34,559,420	70,961,958	84.50%
特別損失	10,862,000	9,425,140	424,250	9,849,390	90.68%
予備費	6,500,000	0	0	0	0.00%

(2) 資本的収入及び支出

収入 (単位:円(税込))

科 目	予算額	執行額			執行率
		上半期	下半期	計	
資本的収入	505,118,000	127,698,000	291,257,163	418,955,163	82.94%
企業債	178,100,000	12,900,000	118,400,000	131,300,000	73.72%
負担金等	19,020,000	2,700,000	22,857,163	25,557,163	134.37%
補助金	195,900,000	0	150,000,000	150,000,000	76.57%
他会計出資金	112,098,000	112,098,000	0	112,098,000	100.00%

支出 (単位:円(税込))

科 目	予算額	執行額			執行率
		上半期	下半期	計	
資本的支出	793,478,000	259,282,018	407,623,430	666,905,448	84.05%
建設改良費	419,379,000	73,159,328	219,702,330	292,861,658	69.83%
固定資産購入費	54,000	29,940	△ 29,940	0	0.00%
企業債償還金	374,045,000	186,092,750	187,951,040	374,043,790	99.99%

令和3年度予算の概要及び事業の経営方針

1 令和3年度予算の概要

(1) 業務の予定量

処理区域内接続戸数及び人口	3,460戸	・	9,400人
年間総汚水量			815,000 m ³
一日平均汚水量			2,233 m ³
主な建設改良事業			
イ 建設改良費			70,044千円

(2) 収益的収入及び支出

収入 (単位:千円(税込))

科目	令和3年度	令和2年度	増減	前年度比
下水道事業収益	678,870	690,880	△ 12,010	98.26%
営業収益	165,916	168,725	△ 2,809	98.34%
営業外収益	512,954	522,155	△ 9,201	98.24%

支出 (単位:千円(税込))

科目	令和3年度	令和2年度	増減	前年度比
下水道事業費用	678,870	690,880	△ 12,010	98.26%
営業費用	603,160	588,036	15,124	102.57%
営業外費用	73,797	83,982	△ 10,185	87.87%
特別損失	33	14,862	△ 14,829	0.22%
予備費	1,880	4,000	△ 2,120	47.00%

(3) 資本的収入及び支出

収入 (単位:千円(税込))

科目	令和3年度	令和2年度	増減	前年度比
資本的収入	132,727	172,541	△ 39,814	76.92%
企業債	3,500	4,800	△ 1,300	72.92%
負担金等	11,700	49,743	△ 38,043	23.52%
補助金	3,371	5,900	△ 2,529	57.14%
他会計出資金	114,156	112,098	2,058	101.84%

支出

(単位:千円(税込))

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減	前年度比
資本的支出	451,961	440,221	11,740	102.67%
建設改良費	70,044	66,122	3,922	105.93%
固定資産購入費	30	54	△ 24	55.56%
企業債償還金	381,887	374,045	7,842	102.10%

2 事業の経営方針

本町の下水道事業は、令和2年度に地方公営企業法の財務規定等を適用し、企業会計に移行したことにより、正確な費用と収益の把握をすることができるようになり、経営状況の明確化につながっています。

さらに、経営状況を分析し、下水道事業の効率化及び合理化を図ることで、持続可能な下水道事業の経営を目指します。

また、企業会計移行に伴い、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図るため、平成28年度に作成した中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の見直しを行います。